

2-2 社会貢献・地域貢献 / 工事仮囲いを活用した地域貢献 建設事業を通し 地域の方と一緒にまちをはぐくむ



「ものづくり」の現場は、地域の皆さまとの日常的な協力関係の上に成り立っています。私たちは、建設業としての事業特性を活かした地域貢献活動を継続的に展開・実践し、地域の皆さまとの交流を積極的に図ることで、調和のとれた地域社会の維持・育成に向け多面的な活動を推進してまいります。



岩田地崎建設環境活動「IECA(イエカ)」



工事現場は何かと目印になります。道案内や緊急時の通報の際に所在地確認の手段として貢献できるとして、工事現場の仮囲いに「住所表示」を掲示し地域貢献の一環として活動を展開しています。岩田地崎建設環境活動(IWATA CHIZAKI ECO ACTION 通称:イエカ)として設置している住所表示には「IECA(イエカ)展開中」と表示をしています。



2019年度は、26作業所にて「住所表示」を行いました。市街地以外の作業所にも設置しているため、訪れたことのない土地でも、所在地確認・住所の伝達が可能です。

作業所への住所表示 (2019年度実績)	北海道(札幌市)	8件
	北海道(札幌市外)	10件
	全 国(北海道を除く)	8件



QRコードを利用した
工事進捗状況のお知らせ

仮囲いにQRコードを掲示しリアルタイムでの「工事進捗状況」の発信も行いました。



仮囲いに夜間照明を設置し
歩行者の安全を確保

夜間の歩行者の安心・安全を確保すると共に、周辺地域での「防犯」の役割も果たします。

多様な環境活動を継続的に展開

当社は、2003年4月のISO14001認証取得に合わせ「環境方針」を制定しました。「環境方針」に基づき、年度毎に「環境活動計画書」を作成し、様々な環境活動に多角的に取り組んでいます。私たちはこれからも、積極的な環境活動を全社的に推進してまいります。



工事仮囲いを活用した地域貢献・イメージアップ活動

工事中であっても、まちの風景に彩りを。そのままでは、ただ四角く無機質に囲ってしまう工事現場の仮囲いを有効に活用。周辺の環境に合わせて、その地域の歴史紹介や景観デザインを施すことで、新しい風景としてまちに彩りを加える活動を積極的に展開しています。

地域の歴史紹介

工事現場の仮囲いをキャンパスに見立て、その土地の歴史にまつわる情報などをイラストを交えて掲示。北海道信金琴似支店新築工事の作業所では、地元商店街のメインストリートに面した立地を活かし、景観を明るくするような可愛いデザインと共に歴史紹介を施しました。



明治時代、屯田兵の移住により形成されたひとつの集落が、琴似(こと)に町へと発展し現在に至るまでの歴史を、わかりやすく展示しました。
※建物は2020年に竣工し、現在は仮囲いは解体されています

インフォメーションセンターの設置

苗穂駅前再開発工事の仮囲いの一角に、様々な情報を発信する「インフォメーションセンター」を設置。建築計画・工事の進捗状況などの工事に関するお知らせの他、苗穂地区のイベント情報など幅広い情報を発信中。地元の高校生や年寄りがバスを待つなど休憩スポットとして利用する姿も見られ、多世代間の交流スペースとしても活用されています。



札幌市 苗穂駅前再開発インフォメーションセンターは
2021年6月末まで設置予定

(開設時間: 月~金曜日 9:00 ~ 18:00)
※ 開設日・開設時間は状況により変更する場合があります